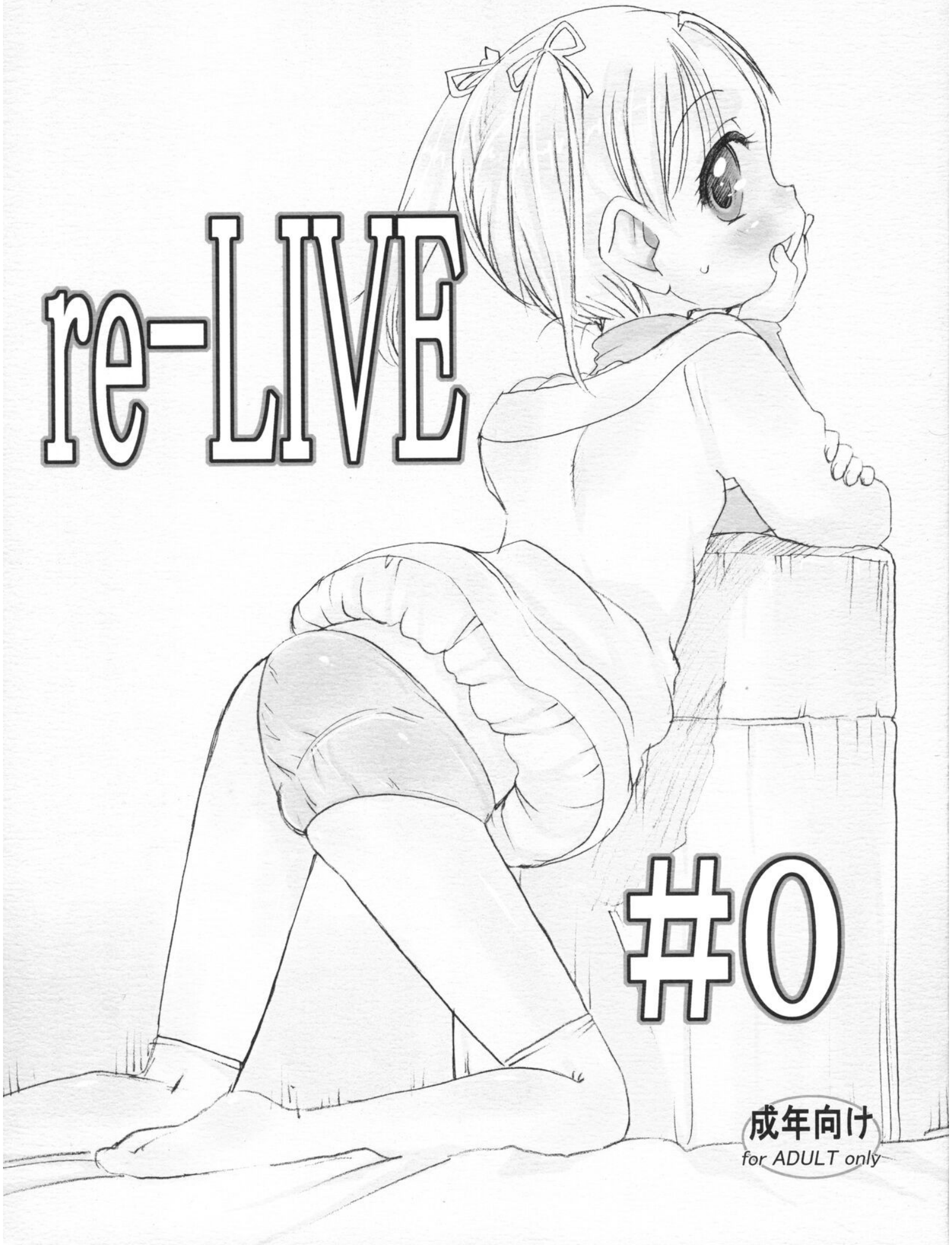
re-LIVE



#0

成年向け
for ADULT only

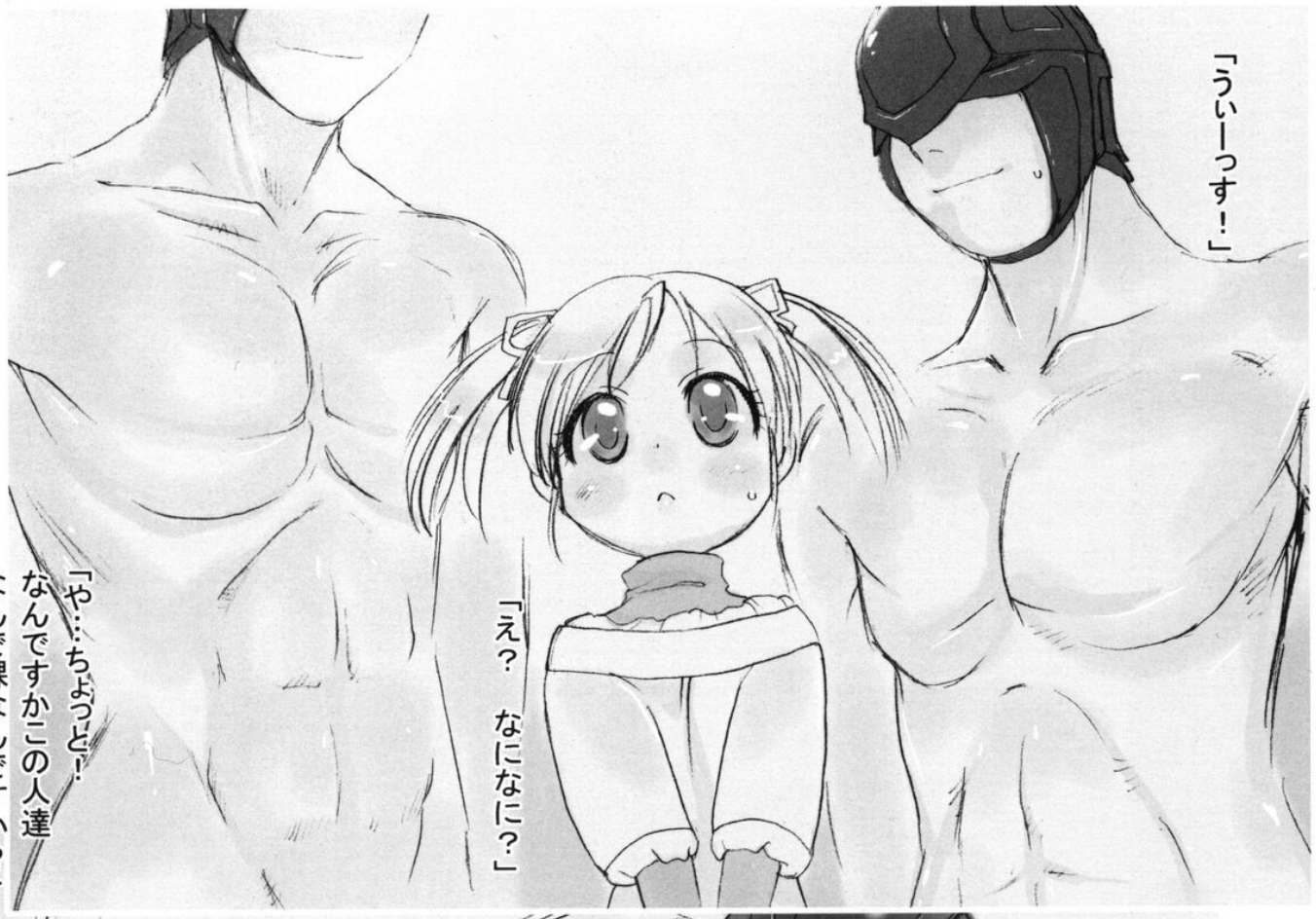
本ライブをご覧の皆様こんにちは。
本日もいたいけな少女の極上なショーをお届けします。
PCモニターの向こうで、ずーっと待ってましたか？
それとも終了後のアーカイブからの視聴でしょうか？
今回のライブ、生放送は○月○日の夕方5時からスタートでした。
リアルタイムでご覧の皆様へは説明しなくて良い事ですが。念の為。

本日の主役は
『鹿山(かやま)みちる』ちゃん。もちろん仮名です。
このライブには芸能プロのオーディションだと思って
出演しています。
カメラテスト中だと思ってます。

「あんまり緊張しないでね」
「は、はい……」

「それにしても今日の服、面白いデザインだね？」
「そ、そうですか？　襟(えり)や裾(すそ)にギャザーが付いてて
下着が見えにくい様に出来てるんですよ」
「へえ、そうなんだ……」

なんかけしからんですねー。
空気読めよって感じですね。
じゃ、早速お願いしますかね？



はい、早速始まりましたねー。
流石にみちるちゃんも、もうこれが
単なるカメラテストじゃない事に気付
いた事でしょう。

「さあ、足を開こうね？」
「だ、だめっ！
触らないでっ」
「ホントにジャマだなこのゴム…」
「ほーら、パンツ見えた♪」
「あ……っ」

はい、まずは一安心。
この子、ちゃんと初めてでしたよ？
局部も殆ど新品同様。
オナニーもした事無さそうな感じ。
その可愛い穴をこじ開けてみると
……これまた可愛い処女膜がしっかり
映っておりますね。
…って、男優の皆さん、気持ちは
解かるけど、局部にばかり集まって
イジり過ぎですよ？

「ふっ…」
「うふ――――っ！」
あらあら？
みちるちゃん、何時の間にか
猿ぐつわなんかされちゃってますよ？
用意がいいですねー。
まあ、この後の事を考えれば
当然の準備ですけどね。

ほら。
もうパンツもじっとり。

みちるちゃんが『初めて』だと
無事に確認できたので、今日は
あんまり長引かないようにしましょう。

「大丈夫、すぐ終わるからね？」
「変に力入って、舌噛んじゃわない為だから」

「ふーっ！」
「ふーっ！」

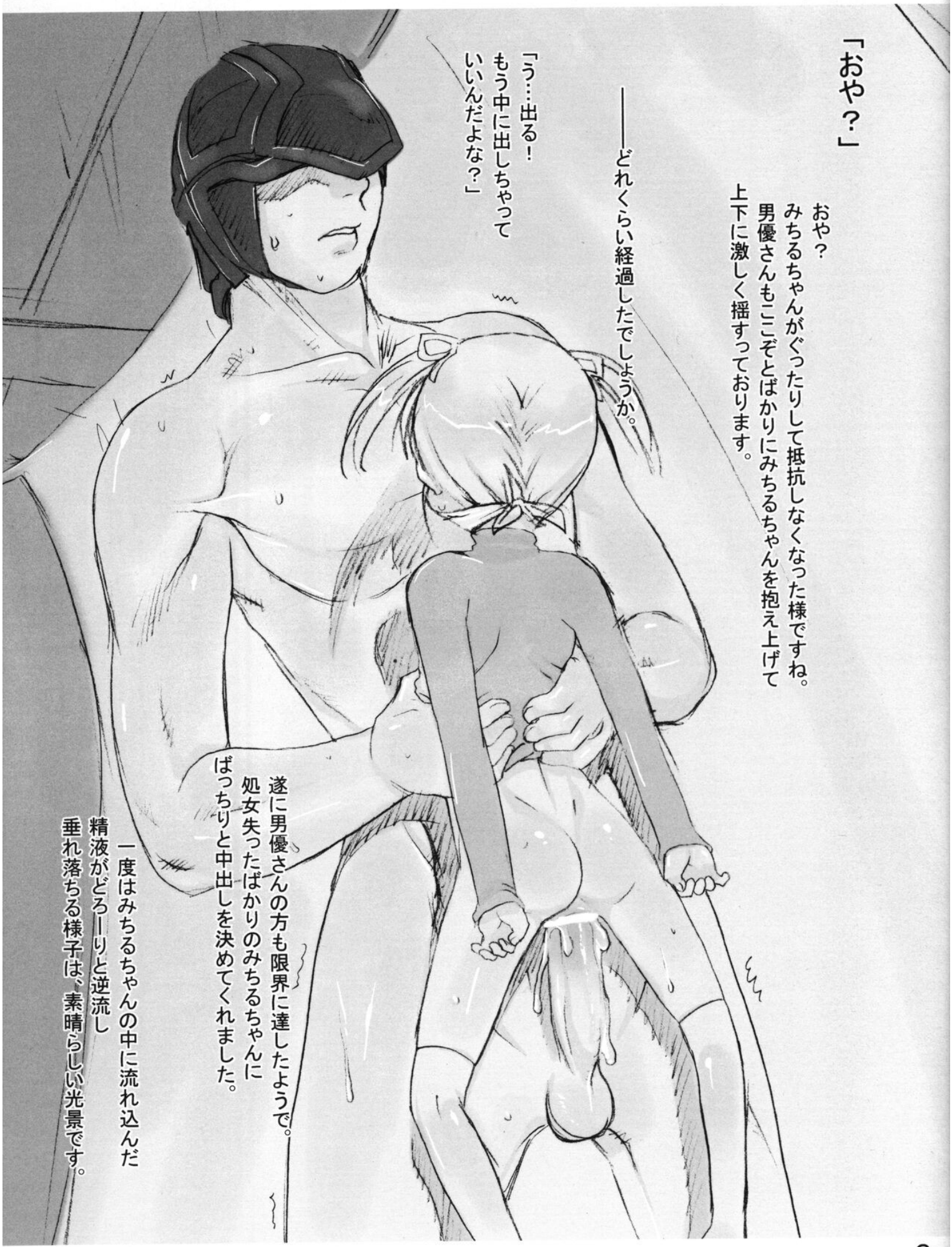
「う！
うぐーーーっ！」

「大丈夫！」

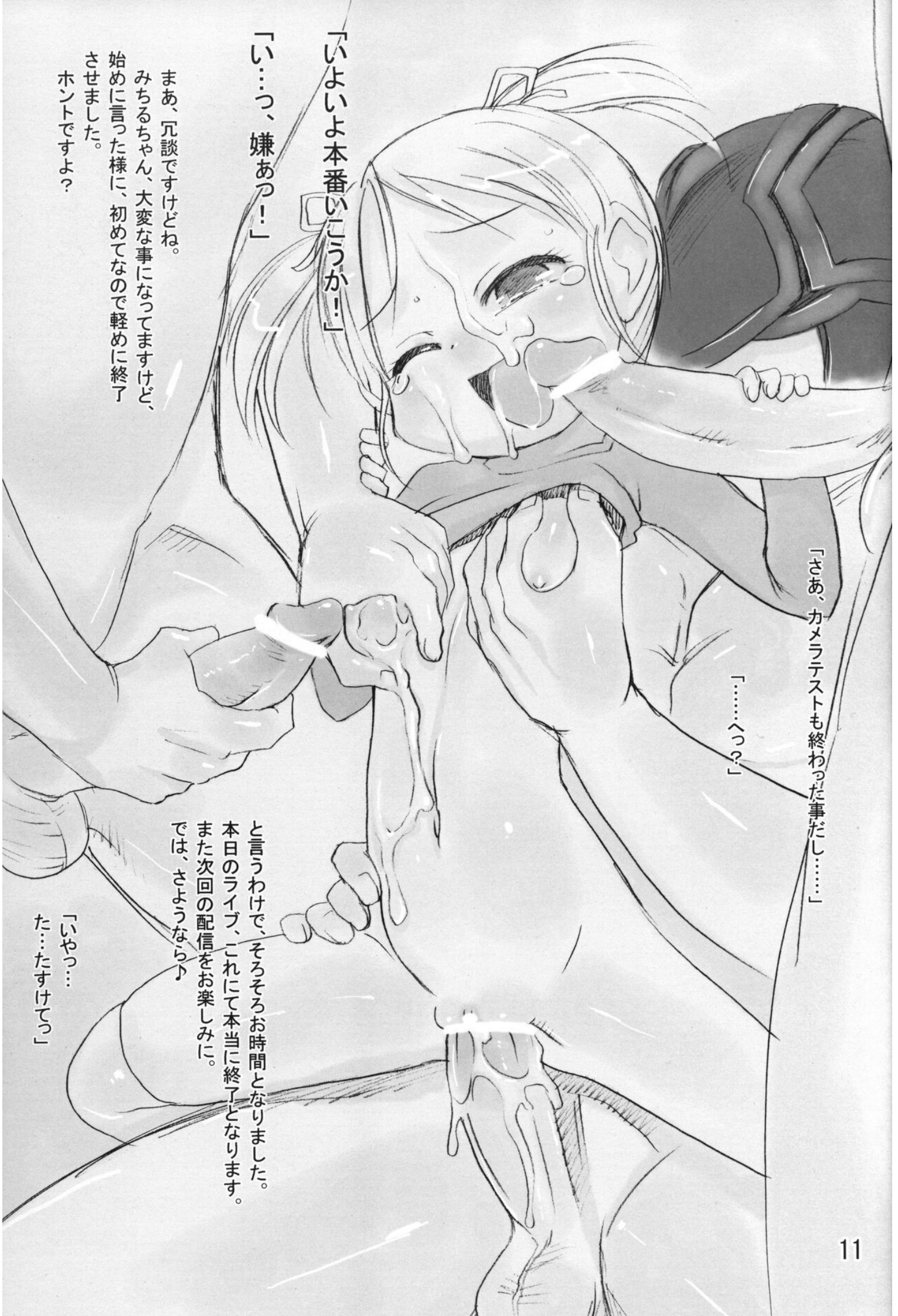
「入る！
これなら入るから！」

みちるちゃんの可憐な裂け目に
むくつけき男のグロテスクなものが
入りこんで行きます。
『メリメリ』という擬音が似合いそうな
光景ですねー。

「――――――っ！」
入りました！
まるで頬張るかのように男のモノを受け入れている
みちるちゃんのそ・こ・には、破瓜(はか)の出血もしっかりと確認
出来ますね。
「よくがんばったね
みちるちゃん！」
「後はこのままちょっと動かすだけで
終わりだからね？」
男優さん達の心にも無い（笑）
励ましに支えられながら
健気に耐えているみちるちゃん。
いやあ、
胸が熱くなりますね。


「おや？」
おや？
みちるちゃんがぐったりして抵抗しなくなった様ですね。
男優さんもここぞとばかりにみちるちゃんを抱え上げて
上下に激しく揺すっております。
――どれくらい経過したでしょうか。
「う…出る！
もう中に出しちゃって
いいんだよな？」
遂に男優さんの方も限界に達したようで。
処女失ったばかりのみちるちゃんに
ばっちりと中出しを決めてくれました。
一度はみちるちゃんの中に流れ込んだ
精液がどろーりと逆流し
垂れ落ちる様子は、素晴らしい光景です。

「う…う――ん…」
「みちるちゃん、もうカメラテスト終わったよ？」
「お、終わった？」
「うん、
良く頑張ったね」
「ほら、自分で開いて中を見せつつ
カメラにピースして？
それで終わりだから」
「うん…はい♪」
たっぷり出した男優さんはさて置き
みちるちゃんはだいぶ辛かったみたいですね。
『カメラテスト終わり』と聞いて、
この安堵した表情。


「さあ、カメラテストも終わった事だし……」
「……へっ？」
「いよいよ本番いこうか！」
「い…っ、嫌あっ！」
まあ、冗談ですけどね。
みちるちゃん、大変な事になってますけど、
始めに言った様に、初めてなので軽めに終了
させました。
ホントですよ？
と言うわけで、そろそろお時間となりました。
本日のライブ、これにて本当に終了となります。
また次回の配信をお楽しみに。
では、さようなら♪
「いやっ…
た…たすけてっ」

はい、という訳でまたしてもぺらぺらな本ですみません。
てるき熊です。
とら祭り記念すべき第一回の参加が、こんな品のない内容で良いんでしょうか。
よくないね、多分……。

本作は以前商業で描いていた『Live』という連作短編のリメイクと的な続編です。
設定こそ引き継いでいるものの、内容的に商業作品読んでなきゃ繋がらないという形にもなっていません。
基本的には
・ネット上で配信されている少女陵辱ライブ映像がある。
・何人かの少女が出演しているが、彼女らはタレントであり、出演の理由こそ様々だが、概ね自らの意思である。　出演に応じた報酬も得ている。
・出演時には本名を名乗らないし、プライベートとは違うキャラを作っている少女もいる。

この辺りを踏まえて頂ければ大丈夫です。
商業で描いていた時にも、一話中で一人の少女に二つのキャラを持たせる試みは楽しく描けて、それが若干形を変えたものの、『ヌシ山メイキング編』に活かされている気がします。

因みにタイトルの『re-LIVE』は、『Live』のリスタート版という意味を持たせましたが、「relive」には『追体験』という意味があるので、今後そういう内容も絡められたら面白いかもと思ってます。　まあ、まだ白紙状態ですが。

そして次は夏コミです。
一応、配置が決まってるので告知を。「日曜日・東テ-30a」です。
先述の『ヌシ山』本編の最新刊が出る予定ですので宜しく。
あと、これに先んじて、6/30にはヌシ山を一冊に纏めた単行本『幼き花●鬼胎少女（かみはらみしおとめ）』が発売されている筈ですので、こちらも宜しくお願いします。

そして最後に、こんな無茶な入稿、無茶な納品に対応してくださったラジャ印刷様にはいくらご感謝しても足りません。　本当に有り難う御座います。

fそれでは皆様、次は夏コミで。

「re-LIVE #0」
発行日：2010年6月20日
発行：P.A.Project
著者：てるき熊

印刷：ラジャ印刷様

mail:asreen@box.email.ne.jp
web:http://www.ne.jp/asahi/playroom/asreen/
blog:http://paproject.4.dtiblog.com/

――御購入されました方々へ――
本作は個々において自己責任のとれるものと定められた年齢以上の方々への販売を前提に製作されております。
大変に危険な内容を含みますので、上記の条件に満たない方は、閲覧をお断りします。
お買い上げ後・読後は本品をしっかりと閉じ、お子様の手の届かない場所に保管してください。

閲覧の際には本書の内容を真似してみようと思わない様な精神状態で安全にご覧下さい。　また、本書の内容の一部または全部の無断転載、引用、上演、映示、実行等を禁止致します。

P.A.Project

※前方は多分
よく見えない。

未成年者の閲覧を禁止します。
また、虚構と現実の分別が出来ない方は例え成人に達していても閲覧をお控え下さるよう、お願い申し上げます。